

## Niel Karrow 先生による CFAI 特別セミナーを実施しました。

令和5年10月30日(月)に、カナダゲルフ大学教授で、東北大学大学院農学研究科の客員教授でもある Niel Karrow 教授による CFAI 特別セミナーを実施しました。Karrow 先生は、10月1日からの2か月間、東北大学大学院農学研究科に訪問滞在しており、特に動物の栄養免疫に関する教育・研究活動に励まれております。本講演では、「Assessing genetic and epigenetic contributions to the ovine stress response phenotype using bacterial endotoxin」をテーマとし、これまでの研究成果をご講演頂きました。家畜が感じる様々なストレスは、健康や生産性に悪影響を及ぼすことが知られております。Karrow 先生は、特に妊娠期の母体のストレスをモデル化すべく、LPS を一つのストレス誘起因子とすることで、投与後の母体の応答性や子への影響を評価した研究成果が発表されました。



ゲルフ大学と東北大学大学院農学研究科は学術交流に関する部局間協定を締結しており、今後も、共同研究や学生交流を精力的に実施していく予定です。ゲルフ大学では、動物の免疫機能および栄養代謝に関する研究が盛んであり、CFAI が目指す、動物の免疫機能の賦活化することによる安心安全な動物生産を具現化すべく、東北大学大学院農学研究科として、ゲルフ大学との交流強化に努めていきます。

野地智法

(東北大学大学院農学研究科  
食と農免疫国際教育研究センター)

